

北方領土学習をテーマにした 修学旅行のご案内(令和7年度)

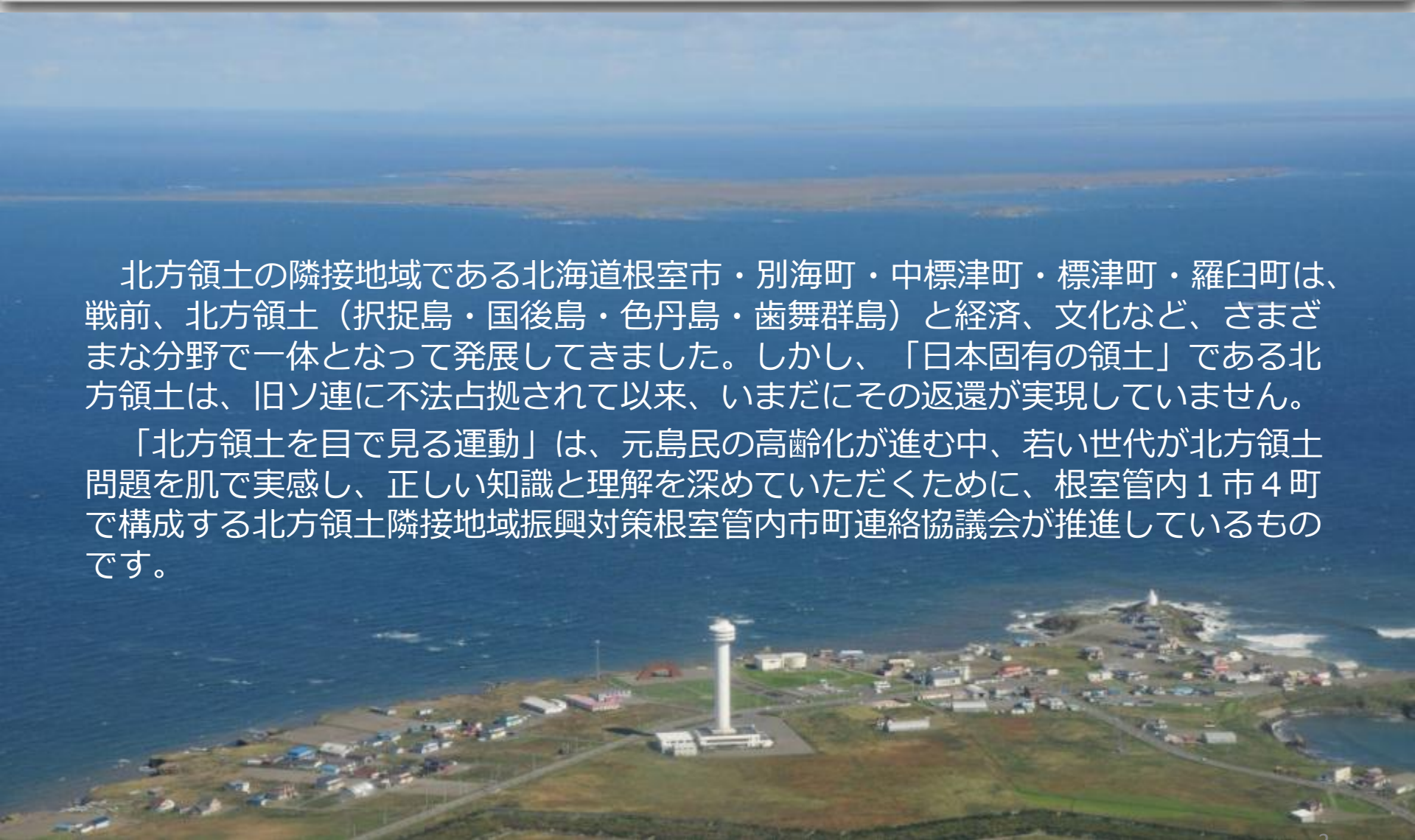
北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会

北方領土を目で見る運動



北方領土の隣接地域である北海道根室市・別海町・中標津町・標津町・羅臼町は、戦前、北方領土（択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島）と経済、文化など、さまざまな分野で一体となって発展してきました。しかし、「日本固有の領土」である北方領土は、旧ソ連に不法占拠されて以来、いまだにその返還が実現していません。

「北方領土を目で見る運動」は、元島民の高齢化が進む中、若い世代が北方領土問題を肌で実感し、正しい知識と理解を深めていただくために、根室管内1市4町で構成する北方領土隣接地域振興対策根室管内市町連絡協議会が推進しているものです。



納沙布岬(北方館・望郷の家)／根室市

わずか3.7 km先には歯舞群島・貝殻島や7 km先には水晶島、天気の良い時には国後島の山並みを望むことができる、本土最東端の岬です。

北方領土を間近に望みながら、専門員によるわかりやすい北方領土問題の解説を受けることができます。

- 所要 30分～1時間
- 人数 100人まで
- 概要 ①北方館には望遠鏡（無料）を設置しています
②施設周辺には、お土産を購入できる施設があります



北方四島交流センター ニ・ホ・ロ／根室市

北方領土問題に対する国内、特に青少年への啓発と、北方四島で暮らすロシア人との交流を目的とした施設です。館内には北方領土に関する歴史的な写真や資料、ロシアの民族衣装や食器なども展示されており、説明員による解説を聞くことができます。

また、交流ホール（187席）を利用した、元島民の講話や映像鑑賞なども実施することができます。

○所要 30分～1時間30分

○人数 120名程度



北方領土の洋上視察／根室市・別海町・羅臼町

チャーター船にて日ロ中間ライン付近まで近づき、歯舞群島や国後島を洋上より視察できます。

【歯舞漁協パノラマクルーズ】（根室市）

○人数 12人まで ○所要 2時間 ○11月1日～4月末

【別海町観光船】（別海町）

○人数 90人まで ○所要 2時間 ○5月中旬～10月末

【ホエールウォッチング】（羅臼町）

○人数 200人まで ○所要 2時間30分 ○4月～10月上旬

【流氷・バードウォッチング】（羅臼町）

○人数 200人まで ○所要 1時間 ○1月下旬～3月上旬

元島民や北方領土返還要求運動関係者などが乗船し、船上にて講話を行うこともできます。



漁業体験・漁師宅への民泊／根室市



根室市はオホーツク海と太平洋に囲まれ、四季を通じて新鮮な海の幸に恵まれています。漁港では、水揚げ見学や市場見学などが実施できます。

- 実施時期 要相談
- 所要時間 要相談
- 人数 要相談



地元漁師宅への民泊では、家族の一員のように寝食をともにすることで、漁業や食の大切さ、人との触れあいを学ぶことができます。



- 実施時期 要相談
- 人数 要相談

酪農体験／根室市

手軽にできるバター作り体験や乳搾り・仔牛へのミルクやり体験、牧場スタッフと同じ仕事をする本格的な酪農家体験など、豊富なプログラムを用意しています。

- 所要 1時間30分～2時間30分
- 人数 要相談
- 場所 明郷伊藤☆牧場



北方領土出前講座／根室市



北方領土問題に取り組む根室市在住の青少年を講師として全国の学校等に派遣し、北方領土問題に関する「出前講座」を行います。

- 所要 50分程度（調整可）
- 講師 根室市在住の青年、高校生
- 内容
 - ①北方領土問題の歴史的経緯
 - ②北方領土返還要求運動
 - ③北方領土研究会の活動（高校生のみ）
 - ④ビザなし交流、四島の現状 など



開陽台展望館／中標津町



展望館から見渡せる牧草地帯はまるで「緑のじゅうたん」のようで、北海道のスケールの大きさを体感できます。

宇宙からも確認できる北海道遺産「格子状防風林」は北海道開拓の歴史のひとつ。また、天気の良い日には国後島を見ることができます。

- 所要 30分程度
- 時期 5月～10月（屋上は年間開放）
- 人数 約250名対応可能（大型バス駐車場 6台）



北方領土問題対策協会からの補助制度①

根室管内における修学旅行で、**北方領土学習を2種類以上**実施した場合、北方領土問題対策協会より補助金が出ます！！

〈対象となるプログラム〉

- (A) 北方領土の洋上視察研修
- (B) 北方領土啓発施設における研修
- (C) 元島民等による講話
- (D) 根室管内の基幹産業等を通じた北方領土研修
- (E) 根室管内の中学校・高等学校等との生徒との交流・研修

北方領土問題対策協会からの補助制度②

全額補助

- ①洋上視察に係る経費
- ②北方領土啓発施設利用に係る費用
- ③元島民の講話に伴う謝礼金
- ④北方領土学習に直結した体験プログラムの費用
- ⑤中・高校生との交流研修に係る費用
- ⑥北方領土学習を実施するためのバス借上料

(※宿泊を伴わない場合は北方領土学習プログラム実施日のみ。宿泊を伴う場合は宿泊の前後日も可)

**補助対象は
生徒・引率教諭**

一部補助

- ①根室管内に宿泊した時、宿泊費の一部を補助(1人1,000円/1泊あたり、民泊は2,000円)
※2泊目以降(1人2,000円/1泊あたり、民泊は4,000円)
- ②根室管内での参加・体験型プログラムに係る経費(1人1,500円まで/1プログラム)
※最大3プログラムまで
- ③道東3空港(中標津)を利用した場合、航空賃の一部を補助(1人4,000円/片道)
※(釧路・女満別空港)を利用した場合、隣接地域に宿泊した場合のみ1人あたり2,000円(片道)

補助限度額

1団体あたりの人数に応じて、下記のとおり補助限度額がありますのでご留意願います。

区分Ⅰ：1名～50名⇒限度額50万円 区分Ⅱ：51名～100名⇒限度額100万円 区分Ⅲ：101名以上⇒限度額150万円

※なお、全体の申請状況によっては、補助金がさらに減額となる場合があります。

また、申込み順に受け付け、予算がなくなり次第終了となります。

モデルプラン(案)

◆ 1日目 (関東地方→羅臼町)



◆ 2日目 (羅臼方面→中標津町)



◆ 3日目 (中標津町→根室市)



◆ 4日目 (根室市→関東地方)



● 補助金支給額 (50名の場合)

バス補助	≒100,000円×2台×4日	800,000円
宿泊補助	1,000円×1日×50名	50,000円
	2,000円×2日×50名	200,000円
航空賃補助	2,000円×50名	100,000円
	4,000円×50名	200,000円
体験学習	※1,500円×1回×50名	75,000円
クルージング	8,000円×1回×50名	400,000円
元島民謝礼	1回	5,000円

合計1,830,000円

⇒ 限度額 500,000円